

異文化の体験によるデザインgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年05月22日 ～2026年05月31日	大韓民国	蔚山大学 国民大学	・デザイン工学科、機械工学専攻、電気電子情報工学専攻 ・学部4年生、修士2年生、修士1年生	(芝浦工業大学) 学生32名、学生バイト5名、教員1名 (蔚山大学) 学生35名、学生バイト5名、教員3名 (国民大学) 学生40名、学生バイト2名、教員2名	梁 元碩(デザイン工学科)



図1 国民大学集合写真

本年度は、韓国の国民大学および蔚山大学との協同による国際デザインワークショップを実施した。本学からは学生32名とTA5名が参加し、国民大学から40名、蔚山大学から35名の学生が参加した。ワークショップでは、環境問題の解決をテーマとして、国際的かつ学際的な視点からデザイン提案の創出に取り組んだ。プログラムは10日間の日程で実施し、1日目にオリエンテーションおよび交流会を行い、参加学生同士の親睦を深めた。2日目から3日目にはフィールド調査を実施し、地域の環境課題や社会的背景について理解を深めた。4日目には関連企業の見学を行うとともに、中間プレゼンテーションを実施し、各グループの調査結果や課題認識を共有した。5日目には具体的な提案内容の検討を進め、6日目から7日目にかけてアイデアのモデル化および試作を行った。8日目にはプレゼンテーションパネルを作成し、最終成果発表会において各グループが提案内容を発表した。さらに、9日目から10日目には現地の文化調査を実施し、地域の歴史や文化的背景に対する理解を深めた。本ワークショップを通じて、参加学生は異なる文化的背景を持つ学生との協働を経験し、環境問題に対する新たな視点やデザインアプローチを学ぶとともに、国際的なコミュニケーション能力および課題解決能力の向上を図ることができた。



図2 国民大学ワークショップ風景



図3 国民大学ワークショップ風景



図4 大学院生の成果発表



図6 最終発表



図7 リサイクルセンター訪問